

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや  
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
会長 山本眞輔  
幹事 吉田 玄  
会報委員長 池森由幸

No. 13

率先しよう

LEAD THE WAY

2006~2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイト

## きょうの例会

第1153回 平成18年10月17日(火)

### 優良従業員表彰

“私の日本体験談” 米山奨学生 楊羽君

## 先週の記録

第1152回 平成18年10月4日(水) 晴

秋季家族会 中日劇場：放浪記

◆ビジター数 (10/10)	54名
◆ゲスト紹介 米山奨学生	楊羽君
◆出席報告	
会員 59 (54) 名	出席 29名
出席率 53.70 %	
前々回 9月26日 (修正出席率)	92.86%

### 山本会長挨拶

本日は放浪記観劇に会員の皆様初めご家族の方々にお集まり頂き、心よりお礼申し上げます。

この催しにつきましては吉田幹事、山本親睦委員長に早くから準備をいただき有り難う御座いました。

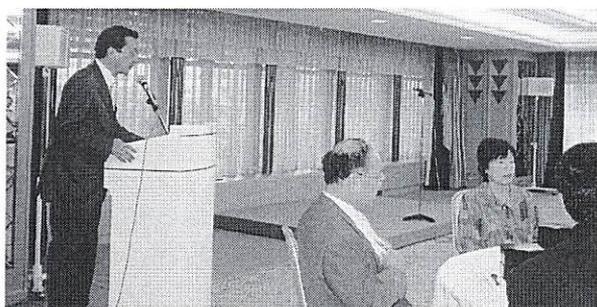
今日は毎日の忙しさを忘れ楽しんで下さい。

### 吉田幹事報告

1. 次回例会は17日(火)で、10日は本日の変更となっておりますお間違いの無いようお願い致します。

又、例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方はお残り下さい。

### 山本親睦委員長挨拶



今年度2回目の家族会に総勢59名の参加を頂き、有り難う御座います。お食事終了後、森光子さん主演の放浪記を御覧頂きますが、初演より45年間単独主演の記録、また女優として文化勲章を受賞されているとの事で、皆様にもたくさんのパワーを下さるのではと思います。観劇終了後、自由解散となっておりますので、お気をつけてお帰り下さい。

では、どうぞごゆっくりお楽しみ下さい。

## ◆◆◆ 放浪記 観劇 ◆◆◆



今日だけはのんびりと…会長のつぶやきが聞えます。



楊君も大口カウンセラー夫人とにっこり



幹事さん~ゆっくりして下さいヨ

## 先々週の記録

第1151回 平成18年10月3日(火) 晴

### ガバナー公式訪問

(名古屋名東ロータリークラブ合同)

#### ◆君が代

#### ◆奉仕の理想

◆ビジター紹介 第2760地区ガバナー 斎藤 直美 君  
第2760地区幹事 藤井 伸三 君  
他 1名

#### ◆出席報告

会員 59 (56) 名 出席 42名  
出席率 75.00 %  
前々回 9月19日 (修正出席率) 92.86%

### 名古屋名東RC津川会長挨拶



風…

赤い羽根を揺らす風…木の葉を染めゆく風が、秋本番を告げています。

秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる…

日本人は昔から目には見えない風のそよぎにもものあはれを感じ取って来ました。風がつく言葉…風流 風情 風合い 風味 風雅 風格…などは、日本人の繊細な感性から生まれた美しい言葉です。

言葉も声も、風と同じように目には見えず心で感じるもの。声からはその人の優しさが、言葉遣いや内容からは知性や教養が伝わってきます。

言葉は息使いから生まれ相手に届きます。私達は声を通して相手の心に様々な風を運んでいるのかもしれませんが。思いやりのある言葉は温かい風となり澁刺とした声は爽やかな風となる…。私の好きな「ありがとう」のひと言は心に温かい風が行き交う言葉ではないでしょうか…。

年齢を重ねるとしわやシミなど、見た目には変化が否でも現れますが、声だけは別。声は歳月と共に磨かれ益々深く豊かに味わいを増してゆくように思います。人生の風味を加えれば誰もが言葉美人になれるのです。

言葉遣いはその人をいっそう美しく見せ余韻を残しますが、反対に言葉遣いが印象を台無しにしてしまうこともあります。

先日東京で電車に乗っていた時の事です。三人のお洒落で綺麗な女の子の会話を聞いて台風にあったような気分になりました。

「この間ブーヤでオケたんだけどお～金ものカレシがいてチョーラッキーだった。でもソクバッキーでチョームカツク」

意味がわかりますか？ 翻訳すると「この間渋谷でカラオケに行った時にお金持ちの彼がいてとてもラッキーだった。でもその人は束縛するタイプだからいらいらする」という意味です。

私が降りるまで女の子たちはちょーカワイイ！

チョーまいう～！と、チョーチョーと宇宙人のような言葉を連発していました。

彼女たちはやがて恋をして結婚し母となり子育てをしてゆくでしょう。その時家族の中でどんな会話が交わされるのか…安倍首相の掲げた美しい国づくりはどこへ行くのか…英語よりもまず日本語を！と言って論議を呼んでいる、伊吹文明文部科学大臣に拍手を送りたい気分でした。

こうしたギャル言葉は一時期のルーズソックスのように一過性のものかもしれません。でも一番多感な青春時代に表現の選択肢があまりにも貧しい…。でも残念ながら大人である私達も選択という意味では尊敬語・謙譲語を使いこなせているかと言うと大いに怪しいものがあります。

例えば「ご苦労さま」という言葉。これは目上の人には使わない言葉ですが「お疲れ様」と混同して使われることがあります。

なんでも「お」を付ければ良いわけではありません。カタカナに「お」は付きません。でも「おビールに致しますか？」は日常的に聴く言葉ですね。

女性が良く使う「とんでもございません」は、正しくは「とんでもないことでございます」。男性が良く使う「生き様」も死に様から派生した言葉で使ってよいものかどうか…疑問です。

「させていただきます」を使えば敬語になると勘違いしている若い人もたくさんいます。

改めて普段の自分の言葉遣いを振り返ると冷や汗が出ることも度々ですが、敬語・謙譲語は相手を思いやる気持ちから生まれるもの。礼節の心から生まれた美しい日本の文化です。人を大事に思えば多すぎず少なすぎず自然に使えるのではないのでしょうか…。言葉は心。相手の話を聞き自分の言葉を聞くゆとりが言葉を育ててゆくのだと思います。

ロータリーは味わいのある言葉の宝庫です。斎藤ガバナーはIMを成功させようという方針を掲げていらっしゃると思いますが、多くの方々に出会い話を聞くことは言葉を磨く絶好の機会でもあります。しかもともだちという貯金通帳がたくさん出来る素晴らしい特典が付いています。私はロータリーの活動を通して言葉を育てて頂きました。

今日の話は皆様にお贈りした言葉の果実。心のご馳走になったのでしょうか…？ 私の一番好きな言葉は“ありがとう”です。心に暖かいものが行き交う言葉ではないのでしょうか？

### 山本会長挨拶



本日は第2760地区ガバナー 斎藤 直美様、地区幹事 藤井 伸三様、のご来訪を頂き、名古屋名東RCとの合同例会です。ガバナーには後ほど講話を頂戴いたしますがどうぞ最後までよろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

ビジターは名古屋北RCの徐聖君です。どうぞゆっくりお寛ぎ下さい。

ポールハリスが友人数人と始めた「小さな友達との親睦の会」が1905年、国際親善と社会奉仕の団体として出発し今日の隆盛をみているわけです。初期におきましてはロータリー名の由来が示しますように会員の事業所を輪番に使用し例会を開催していました。しかし会員の増加とともに組織も大きくなり定款の整備、運営細則の設定など色々な問題が出てきています。どんな組織にも言えることですが組織が大きくなればなるほど内部矛盾、内部崩壊が懸念されます。

地区方針「原点回帰」はこのあたりで一度足元を見直そうという事であると理解しております。わがクラブにおきましては「共生」をテーマとして掲げ、人は自然の一部でありすべてのものと調和を保つべきであるという考えです。科学技術の進歩により人間が自然までもコントロール出来るのではないかと思うのは錯覚であり、思い上がりです。自然科学の進歩は自然を知る、理解するということであり、支配するという事につながるものではありません。今こそ自然と共に生きるという謙虚さが必要で、これが「共生」の基本的理念です。クラブの置かれた環境によりその対応は各々異なりますが、あまり現実と乖離してはならないと思います。国際ロータリーの理念の下に、実情にあった活動を続けたいと願っています。活動の中には多くの事項があり、具体的にどのようにかわってゆくかは大変難しい問題で、全部は勿論できません。又テーマによっては日本の状況になじまないものもあり、否定とか不参加ということではありませんが慎重に対処すべきだと思います。

総花的や思いつきでなく活動事項を慎重に検討し系統的にその優先順位を決めるべきであると考えております。私は本年度の地区方針「原点回帰」をロータリーの草創期、出発点まで戻って考えています。一人一人が入会時の気持ちを忘れないようにしたい。別の言葉でいいますと「身の丈にあった」活動を心がけようということです。

千種クラブは来年25周年を迎えますので、本年度はロータリークラブの原点、スタンダードである「親睦」と「奉仕」に重点を置き、足元を見つめる年度にしたいと思っています。組織は個の集まりです。一人一人がロータリーの基本理念をよく理解し自分のできる事から活動をしてまいります。ガバナーをお迎えし、私の所信の一端を申し上げました。ご講評、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

### 齋藤ガバナー講話



R I会長ビル・ボイドさんのテーマを皆様にお伝えし、協力をお願いするのが、私の役目であります。

2月16日、アメリカ・サンディエゴのホテルの国際会議場で発表されました。Lead the Way「率先しよう」であります。

同時に4つの強調事項も発表され、解り易くてよかったとガバナー仲間では好評でした。

ところがリーダー格のバスターガバナーから最近の会

長テーマは前年度を意識した延長線上にあるテーマと考えるとよいと発言がありました。なるほどR Iのグローバル化したプログラムは継続性が必要です。人材の継続も必要です。そうしますとLead the Wayは昨年のテーマ、ステンハマー会長さんの“Service above self”を意識したものと考えなくてはならないのであります。

ご存知のようにService above self（超我の奉仕）（自己研鑽の奉仕）は第1標語（モットー）であります。

ロータリー哲学、ロータリー思想の原点と解釈されています。そうしますと昨年と今年のテーマの連続性から、「よく考えてから率先してください」とLead the Wayは読み取れるのではないのでしょうか。

R Iの奉仕プログラムはグローバル化され、長期化され日本人の我々には身近なテーマ、地域のテーマとして考えにくく、扱いにくくなっています。テーマの切り口がつかめないのであります。そのため、どうしても腰が引けてしまいます。

その時は、そのプログラムをもう一度考え直して、足を止めクラブ奉仕の延長線上のテーマとして考え、クラブとして個人として扱えるかどうかを検討する必要があります。ところで何故クラブ奉仕の延長線上なのかを深く考えてみなくてはなりません。よくロータリーは職業奉仕だといわれています。しかし私は最近若い経営者とお喋りをするうちに職業奉仕を理解していることがロータリアンとして入会してもらうための前提条件だと思うようになりました。若い彼等は職業奉仕の何たるかを別の言葉で理解しています。（例えばCSR、TQCなど。）だからこそ成功し発展し続ける企業のトップリーダーとしてロータリーにpick upされロータリー運動に参加しているわけです。ですから職業奉仕を理解していることは入会の前提条件と考えるようになったわけです。

そしてひとたびロータリーに入会させていただいたからには、試練の場が待っています。ロータリーの何たるかを学習しなければなりません。

その学習の場が例会場でありますから例会出席を厳しく問われるわけです。例会に出席し、自分の情報をメンバーに発信してあげる、メンバーから情報を頂戴する。その行為が職業奉仕を兼ねたクラブ奉仕と考えられています。メンバーがメンバーになる必要条件がこの例会出席という義務であります。例会出席は例会づくりでもあります。自分で例会を演出し楽しい例会の協同作業を行なっているのです。そして次にあふれる思いが出れば（御縁があれば）社会奉仕や国際奉仕に個人として手を染めてゆくことになるのですからクラブ奉仕の延長線上にあると申し上げるわけです。社会奉仕・国際奉仕に参加してこそロータリアンとして十分条件を満たすことになろうかと思えます。

この十分条件を満たすためのテーマがR I会長の4つの強調事項への参加であります。

①水保全 ②保険と飢餓 ③識字率の向上 ④ロータリー家族。

この4つのうちどれか1つに手を染めてください。そうしたらロータリアンとして十分条件を満たすことになります。と訴えておられます。

しかし、クラブにはクラブの歴史によって立つ地域の特性があり未来へ向けての奉仕の方針があります。個人には個人の人生観があります。四つの強調事項にどう取り組むかは、クラブ毎にロータリアン毎に考えればよい事だと思えます。むしろ、自分達の地域のニーズに取り組むことこそ優先すべきでしょう。この時に「ロータリー運動とは何ぞや?」です。(決議23-34号に明記)ロータリーを考えていくと、この「何ぞや?」の壁に当たります。PGの森泰樹先生は「ロータリーは人生の余白」とおっしゃっています。この余白に何かを書くことが望ましいのではないのでしょうか?

それがロータリアンではないかと思えます。人生の余白に何を書くか、それはあなたの、私の宿題です。

私の好きな言語にロータリアンフェイスという言葉があります。(エンジェルスマイルに通じる)

町で、飛行場で、車中で、まことに柔和な微笑をたたえたお顔の人に会うことがあります。そんなお顔「ロータリアンフェイス」の自分になりたいものです。

それは人生の余白に何かを書くから落書きするから出来るお顔でしょうか……。

駄弁を労しました。御静聴有難うございました。

## 会長・幹事懇談会

10:30~12:00



齋藤ガバナー、藤井地区幹事を囲み、各クラブの会長・幹事との懇談会が開かれ、クラブの現状説明等につきご講評を頂きました。

## ゴルフ会成績

南山カントリークラブ 9/28(木)

RANK	NAME	Out	In	G	Hcp	NET
優勝	川端 圭	47	42	89	15.6	73.4
2位	澤田 淳治	44	44	88	12.0	76.0
3位	澤田 栄	54	50	104	27.6	76.4
B B	小山 雅弘	62	53	115	36.0	79.0

(参加者 8名)

## ニコボックス

(10月4日分)

紺矢 寛朗

花さきぬ 花ちりぬ 花実る

13年ぶりです でも一期一会

今日は家内と出席させて頂きました よろしくお願いたします

小山 雅弘

事務局の松中朋子さんが二科展

デザイン部門で入選されました。

10月15日まで愛知県美術館で展示

されています

足立 一郎

林 昭一

伊豫田 博明

加藤 重雄

小杉 啓彰

牧野 登志子

宮尾 紘司

水谷 祥督

西川 豊長

佐久間 良治

鈴木 正男

藤田 千津子

伊藤 三津子

櫻尾 富二

小林 明

黒須 アイ子

松居 敬二

三好 親

森 幸一

大川 勝平

笹野 義春

舎人 経昭

和田 正敏

山本 眞輔

天高く 馬肥ゆる秋です

本日は「放浪記」を楽しみましょう

合計

45,000円

(10月3日分)

ガバナー 齋藤 直美君

地区幹事 藤井 伸三君

公式訪問にあたりまして

名古屋名東RC

会長 津川 聖子さん

幹事 寛 久俊君

本日はお世話になります ガバ

ナーご指導よろしくお願い致します

林 正路

ヨーロッパ(パリ)に行つてバ

ナーを交換してきました

山本 眞輔

本日は合同例会です 齋藤直美

ガバナー 藤井伸三地区幹事をお

迎えしております 心よりご歓迎

申し上げます どうぞよろしくご

指導下さい

松居 敬二

麻雀会優勝しました ありがと

うございました

油田 弘佑

藤田 千津子

後藤 滋巳

伊藤 三津子

櫻尾 富二

小林 明

小杉 啓彰

久野 峯一

牧野 登志子

三好 親

森 幸一

大口 弘和

佐野 寛

鈴木 理之

舎人 経昭

足立 一郎

二村 聡

服部 正夫

伊豫田 博明

加藤 重雄

紺矢 寛朗

小山 雅弘

黒須 アイ子

宮尾 紘司

水谷 祥督

奥村 彰司

尾関 武弘

澤田 淳治

竹内 眞三

和田 正敏

山本 英次

吉田 節美

浅井 誠寿

市邨学園はこの秋創立100周年

を迎え、11月17日にその祝賀会を

開催いたします 後日会員の皆様

にご案内をいたしますのでお繰り

あわせご出席のほどお願いいたし

ます ガバナーをお迎えして

伊藤 健文 川端 圭

渡邊 源市

ご主人・夫人誕生日祝い

合計

96,000円

次回例会

平成18年10月25日(水)

職場例会

於：ノリタケの森